

第4回福井市再生可能エネルギー農山漁村活性化協議会

1. 開催日時
令和3年9月27日（月）13：30～15：00
2. 開催場所
福井市役所別館中2階 第11会議室（C）
3. 出席者
別紙 名簿のとおり
4. 会議の内容

事業者

1 開会

○事業者による国見風力発電事業の進捗状況の説明

- ・ スケジュールは当初の予定通り進捗している。
- ・ 様々な許認可手続きや設計、調査を進めている。
- ・ 「環境影響評価」は今月末で現地調査が完了する。
- ・ 環境影響評価の4つ目のプロセスである「環境影響評価準備書」を福井県に提出すべく、福井県並びに環境に対する有識者方との協議を開始したところである。
- ・ 同じく重要な許認可の一つである、「林地開発」を進めている。
- ・ 経済産業省の許認可に必要である、風車の建設予定地の地質調査（ボーリング調査）を先月から実施している。
- ・ 現地で風の測定を開始してから、令和3年11月で2年となり、事業性の検討に重要な各季節の風速変化の調査が間もなく節目を迎える。
- ・ 今後は、環境影響評価・林地開発許可・経産省へ提出する工事計画届といった、住民の生活環境や安全を確保するために不可欠な各許認可の取得を進めていく予定である。

事務局

2 協議

○基本計画（素案）について

再エネ法に基づき作成した素案を説明。

運営協議会について説明。

質疑応答：特になし。

素案の承認：異議なし。

事業者	○アクションプラン（素案）について これまでの協議会を経てまとめた素案を事業者が説明。
副会長	質疑応答： アクションプランのうち「生活の質 QOL の向上」について、一つのプランの中に複数の分野の内容が記載されているが、もう少し分割したうえでアクション Lv を変更するような形で優先順位をつけて取り組まれてはどうかと思った。
事業者	インフラ分野と防災分野で分割する等検討したい。
委員	森林経営計画に基づいて作る規格の作業道（林内作業路）については、どうしても狭くなっている。既存の林道でも道幅があまり広くないものもある。 地元要望で作業道を拡張したいというようなときにこの地域貢献策を活用して、既存の林道や森林経営計画に基づいて作られた作業道を補強、拡幅することは可能か。 現時点で設定されているアクション Lv は!!だが、場所によってはより重要度が高い地点もあるのではないか。
委員	作られた道は作業道であって一般道ではない。作られた後の作業道の維持管理が問題である。
事務局	森林経営計画及び国の補助を使った森林整備の概要を補足説明。 地元がほしい規格の道が作れる訳ではなく、間伐材を搬出するための道であり、幅もカーブも規定があり、広くもない。従って、舗装などもしていないので、雨の翌日など、通行できない道も多い。
事務局	今アクションプラン（素案）では、「経営計画に沿った間伐等」記載されているが、国の補助事業がつかえるものではなく、地域住民や実際に整備を行う森林組合は、経営計画が立てられない森林の整備・道づくり、経営計画の対象期間が終わった後の森林のための道の維持管理や整備についての対策を盛り込んでほしいということである。 アクション Lv について、もう一度説明を。

事業者	アクション Lv.!!というのは、重要度の指標であり、事業としての緊急性や優先度ではなく、地元地域がどれだけ重要視しているのか、どれほどの課題感と考えているのかを表示している。 大きな課題だが今まで改善・解消できていない事柄に対しては、できるだけ早期から具体的な解決策や事業化を検討しなければならない。→アクション Lv.!!!とする。 アクション Lv.!!!と比較して、緊急度や課題の大きさが及ばないものや、他地域事例の転用等を講じれば、当地域でも実施可能だろうと思われるもの。→アクション Lv.!!とする。
会長	アクション Lv に関しても、事業者側でなく地元の方々の話し合いによって決定されるものかと思う。
委員	アクション Lv の基準に関して、何をもって重要度を決定しているのか。 緊急度、重要度でもレベル分けしてはどうか。
事業者	アクション Lv を細かく策定していくのは難しい。緊急度、優先度、重要度を細かく決めるのは困難である。よって、地元・地域がより重視している項目を重要度として指し示している。 我々事業者サイドが勝手に決定したものではなく、地元の声や課題の認識度合いによって決めている。
会長	早めに検討した方がよいと思われるものも重要度として織り込んで考えられているのではないか。
事業者	織り込んでいる部分もある。
会長	各々の認識では、現在のアクション Lv と異なる箇所もあると思うが、一つ一つ検証していくのでは時間もかかるであろうことから、次回までに地域の方々に特にやるべきという指摘があれば今一度見直すということもあり得るかと思う。持ち帰られて検討をお願いしたい。
事務局	持ち帰られて、各地区で意見をまとめてください。

委員	「地域イベント・観光資源の創出」に関して、大学生に協力してもらい地域を盛り上げるような活動を行っているが、そういったことへの協力はしてもらえるのか。地域の外から来た方に客観的な視点で見てもらえるといいのではという期待がある。
事務局	地域が主体となりと記載されているが、大学生などへ協力を仰げる旨追加記載してほしい。地域外からの視点ということで、福井市が協定を結ぶ大学などから、学生さんとの連携など協力できる面はある。
副会長	学生側にもタイミングがあり、意見は出してもらえても例えば卒論のテーマが決まっていると各自の研究を進める必要があることなどから、今からねじ込むのは難しいと考える。
委員	先ほどの委員の発言のとおりで、森林経営計画に基づいて、つけた作業道は大雨の際に被災したので、どう復旧していくか課題も多い。道が狭いのも問題である。 国見地区には自然エネルギー、風力発電事業者が 3 社参入している。事業はいいのだが、会社そのものの 3 社まとまりがなく、わからない。B 社が一番早いようにみえる。
事業者	事業進捗上は B 社ではなく、環境影響評価の現地調査も今月終わられる当社が最も進んでいる。 地元の方にとって状況が複数社入り乱れていると感じられるということは聞き及んでおり、事業者間でも地元の方の混乱を招かないよう連絡を取り合いながらしたい。地元にある協議会も活用して、円滑に理解を得るべく留意したいと考えている。
委員	今までは地区単位で行っていたようなイベントも、地区同士で共同して行えるような可能性ができてきたのではないかと感じている。
委員	当地区には、変電所がくると聞いている。先に述べた委員の方の意見と同じで、地域の発展や連携につながるものではないかと期待している。

事務局

○意見用紙について説明

アクションプランに関して、具体的に実行に移していく際、資金をどのように配分していくのかを、事務局として一つの案を提示している。

金額の目安はあるが、あくまで風力発電事業の売電益なので、金額はかわるものである。

委員からの発言もあったが、地区単独ではなく地域全体で活用できるような配分案であり、資金は単に 6 地区で均等に配分するのではなく、半分は均等割し、もう半分は複数地区で共同開催のイベント等に分配することを事務局からの案として提示した。複数地区連携の事業がない場合や余った資金は翌年度へプールする。

資金の配分案だけでなく、現在のアクションプラン案に付け加えるような意見でもよい。

地区ごとに意見を取りまとめのうえ、11 月末までに提出してほしい。

提示したのは案であり、福井市の決めたもので動かすのではなく、住民の皆様の意見を反映したもので動かしていくものだと考えている。

会長

地域の活性化を考えていただく中で、自治会皆が納得されて、気持ちよく活動できるような形になってほしいと考えている。

アクションプランに盛り込めるものは盛り込んでいただきたい。また地区に持ち帰られて活発なご議論をお願いしたい。

副会長

事業者へのお願いで、地元の方々は、事業者が 3 社であっても、風車は何本建設されたかということしか体感できない。初めに建設された 10 本は A 社で…というような区別はおそらくされないだろう。地元の感覚を念頭に入れていただいた上で、事業者同士の連携をより深めながらお互いに上手く事業を進めていってほしい。

事業者

民-民でできる範囲のことには限られるが、何よりも地域の方々に混乱を起こさないように進めていきたい。

会長

3 次回 第5回 12月開催予定

事務局

4 閉会

《終了》

福井市再生可能エネルギー農山漁村活性化協議会 名簿

役職	所属	出欠
委員	東洋大学経済学部総合政策学科 教授	○(リモート)
委員	HARU 環境技術士事務所代表	○
委員	鷹巣自治会連合会長	○
委員	国見自治会連合会長	○
委員	棗自治会連合会長	○
委員	鶉自治会連合会長	○
委員	本郷自治会連合会長	欠
委員	安居自治会連合会長	欠
委員	福井森林組合代表理事組合長	○
委員	福井県農業協同組合 福井基幹支店 営農部部长	○
委員	日本風力エネルギー(株) 事業開発 シニアマネージャー	○(リモート)
委員	福井県福井農林総合事務所林業部長	○
委員	福井市農林水産部農政企画課	欠
委員	福井市市民生活部環境廃棄物対策課	○
事務局	福井市農林水産部林業水産課	○